子育て ほんわかタイム
大切にしたいね、家族の会話

のへじの教育

Contents

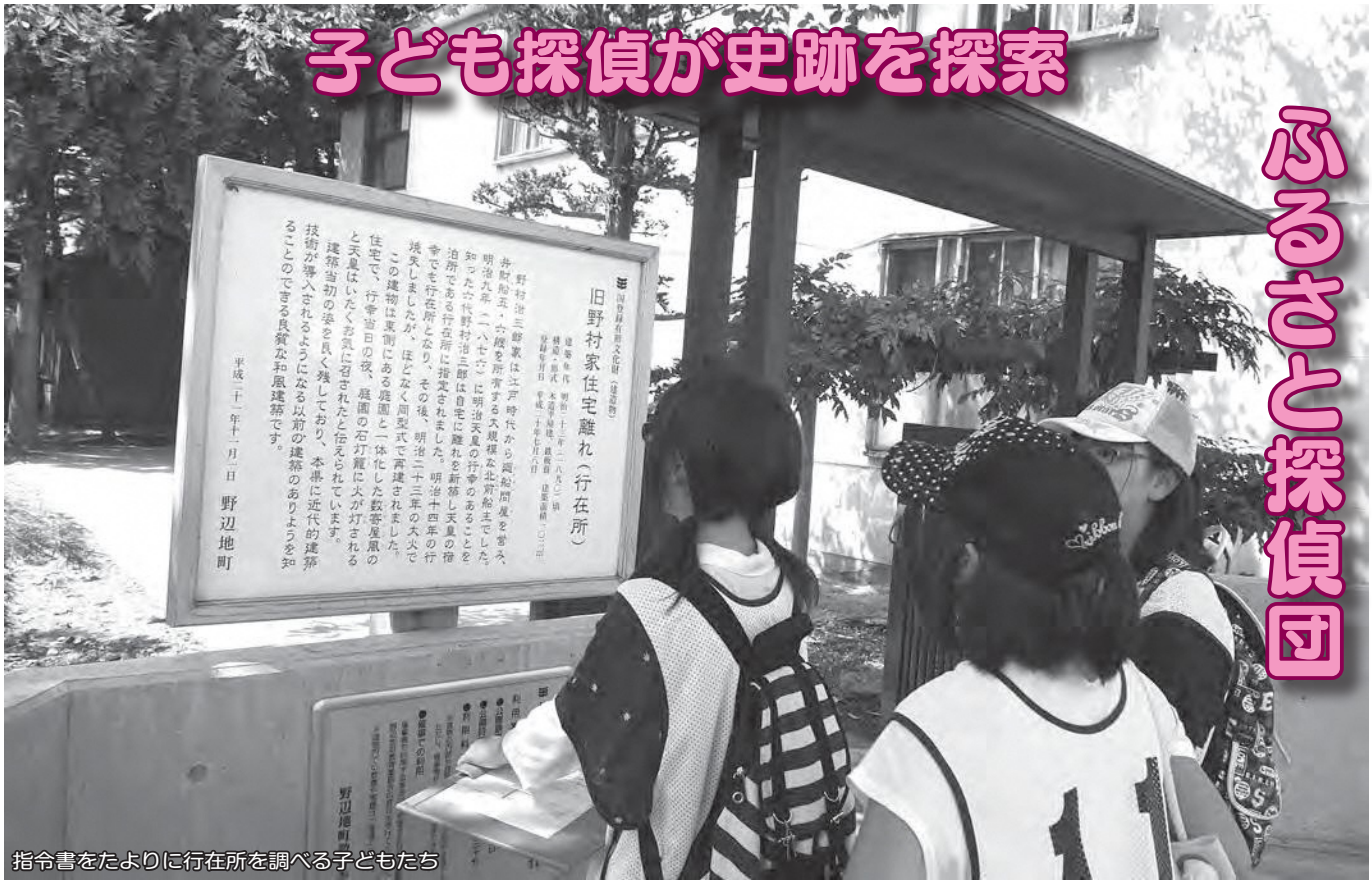
- ふるさと探偵団…… 1
- 平成26年度主要事業、町立小学校施設基本方針……2、3
- 教育ニュース……4、5
- 子どもの文化、スポーツ活動紹介、お知らせ…… 6

生き生き子ども！　温か家族！　はつらつ先生！　地域が支える野辺地の教育

発行／野辺地町教育委員会　Tel 0175-64-2119　fax 0175-64-4954

子ども探偵が史跡を探索

ふるさと探偵団



指令書をたよりに行在所を調べる子どもたち

町内にある文化財をグループで巡り、先人の足跡から郷土愛を育んでもらおうと、８月６日、「ふるさと探偵団」を行いました。

参加した町内の小・中学生35人は、８つのグループに分かれ、明治天皇東北巡幸にゆかりのある国登録有形文化財の行在所、愛宕公園の花鳥号銅像や常光寺の石碑など史跡５か所を探索。

子どもたちは、地図と方位磁針、指令書をたよりに目的地を巡りました。

なかなかたどり着けないグループもありましたが、みんなの力を結集し、全てのグループが問題を解決しました。

ゴール後は、熱くなった頭と体をかき氷でクールダウン。

解散式では、全員に任務完了証が渡され、夏休みの一日を楽しみました。

調べた答えを報告書にまとめる子どもたち

平成26年度

野辺地町教育委員会の主要事業

野辺地町の教育は、地域と共にあります。地域の力が学校を活かし、学校の力が地域を元気にします。両者が一体となって大きな活力を生み出し、町の学校教育・社会教育ビジョンの実現を目指します。

個を生かし生きる力と夢を育む学校教育

かしこい野辺地っ子を育む教育

・確かな学力の育成
・社会に目を向け学びを深める教育の推進
○スクールサポーターの配置・研修
○英語で元気な町づくり事業（ＡＬＴの配置）

しなやかでやさしい野辺地っ子を育む教育

・魅力ある学校、認め合う学級づくり、慈愛と厳しさのある児童生徒指導
・人としての生き方を学ぶ教育の推進
・不登校児童、生徒及びいじめへの対応
○小学校生徒指導出前授業
○キャリア教育の推進

たくましい野辺地っ子を育む教育

・食育と保健教育の充実
・スポーツに親しむ体力づくり
○給食の充実・バイキング給食の日
○学童スキー大会開催

繋がりを大切にした接続の教育

・幼保・小・中・高校の連携
・学校力・地域力・家庭力の構築
○小・中連携事業（教科出前授業）
○小・中学校音楽交歓会の開催
○学校支援活動推進事業（コミュニティカレンダー作成）
○小・中作品展の開催

教育環境の充実

・教職員の子どもを支える力、導く力の向上
・安全・安心な学校づくり
○中学校改築事業（武道場・外構・グラウンド）
○教職員ふるさと研修
○緊急メール配信事業の支援
○教材備品の整備

淺利能之教育長からのメッセージ

町民の皆様に嬉しいお知らせがあります。この度、野辺地町から出土した「赤漆塗木鉢（あかうるしぬりもくはち）」が、国の文化審議会において、重要文化財の指定を受けました。

次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用はとても重要なことですが、それ以上にこの地に約５５００年前の文化の泉があったことは、野辺地の子どもたちが郷土に誇りを持つニュースだと思います。

さて、野辺地町教育委員会は、町が目指す子どもの姿として、

かしこい　野辺地っ子
やさしい　野辺地っ子
たくましい　野辺地っ子
しなやかな　野辺地っ子

を、掲げています。これは、国や県が目指す「知・徳・体の調和がとれた育成」とも合致しているものです。これを教育の基本的な理念として、学校教育においては、夢や志の実現に向けて「自分の考えを持った・自分の考えを持つ子ども」を育てたい、そして「いじめ」は毅然とした態度で完全防止していきたいと考えております。

さらに、知・徳・体を育むことはもちろん、学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育、活力・健康・感動を生み出すスポーツの推進にも力を入れていきたいと思います。

このため今年度も様々な事業を計画しております。特に、教育環境の整備面では、野辺地中学校の武道場の新築・外構・グラウンドの整備を行います。また、課題となっておりました小学校については、子どもたちの安全・安心を第一と考え、まず、三つの小学校の耐震化を、平成27年度末までに完了し、その後、児童数の減少に対応して、将来的に一つに統合するための準備をしていきたいと思います。

皆様の教育行政に対しての御理解と御協力をお願い申し上げ、メッセージといたします。

国重文に指定された赤漆塗木鉢

教育施策の方針

豊かな心と郷土に対する誇りをもち、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り開く青少年の育成をはじめ、町民の生涯にわたる教育、文化、芸術、スポーツの振興に努めます。

一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育

一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

○みんなの教室（4月～11月）　○女性学習講座（5月～12月）
○にこやか生きがい教室（6月～12月）
○ハッチョウトンボ観察会（7月）
○野辺地町文化祭（10月25・26日、11月1～3日）

次世代を担う青少年の育成

○文化少年団活動（6月～12月）　○ふるさと探偵団（8月）
○ふれあい通学合宿（9月）　○ふれあい教育フェスティバル（10月）
○在学青年ボランティア活動　○子ども司書養成講座（7月～2月）

地域を支える人材育成

○生涯学習大学講座（7月～12月）
○男女共同参画情報交換会（11月）

学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力向上

○家庭教育推進事業　○いのちのお話出前講座（11月）
○ピコロ・ぴよぴよクラブ（5月～12月）
○親子ふれあい読書の奨励（ブックスタート事業、ヨチヨチおはなし会）
○学校等と連携協力した読書活動の推進（朝の読書読み聞かせ等）
○第2次野辺地町子ども読書活動推進計画の策定（3月）

青少年・生涯スポーツの振興

○スポーツ少年団の支援（11団体）
○水泳教室（6月～7月、12月～1月）
○健康ウォーターマラソンスタンプラリー（12月～3月）
○ニュースポーツ講習会（10月）
○各種スポーツ大会（野球・スキー）の開催
○スポーツカレンダーの発行（5月）

文化財の保存・活用

○重要文化財土偶ほか保存修理事業
○旧野村家住宅離れ（行在所）の一般公開（4月～11月）

野辺地町立小学校施設基本方針を策定しました

～安全・安心な教育環境を目指して～

昨年、野辺地中学校の校舎が新築されたところですが、いよいよ、小学校についても、将来、どのような考え方で進めていけば一番良いか、方向性を示す時期が来ました。

そこで、現在の校舎の著しい老朽化や児童数の推移を見込みながら「野辺地町立小学校施設基本方針」を策定しました。この基本方針は大きく二つを掲げています。

◆第一点

平成27年度末までに耐震補強工事を完了します

現在の野辺地小学校、若葉小学校、馬門小学校は、大きな地震が発生した場合、倒壊の恐れがあり危険な状態であるため、早急に三つの小学校の耐震補強工事を実施します。

◆第二点

平成28年度から統合へ向けて準備します

昨年、「野辺地町立小学校適正規模配置計画検討委員会」が将来の小学校のあり方についての意見を、提言書として町へ提出しました。その内容を重く受けとめ、町と教育委員会とで検討した結果、将来的には三つの小学校を一つに統合し、更に校舎を新築するのが望ましいという考え方で、その統合へ向け平成28年度から準備していきます。

今後は、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、学校関係の皆様からの御意見や御要望を聞きながら、より良い教育環境の整備に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

4月から学校や各種団体の行事予定をホームページでお知らせします。http://www.town.noheji.aomori.jp

子ども音楽・芸術祭 文化団体が楽器演奏やダンスを披露

子どもたちの音楽・芸術活動の発表機会として、11月17日、中央公民館で「野辺地町子ども音楽・芸術祭」を行いました。

音楽・芸術祭には、町内の5団体95人が出演し、楽器演奏の披露や元気なダンスで、会場に訪れた約300人を魅了しました。

続いて、数々の世界大会で輝かしい実績をおさめたプロダンサーの二ッ森司さん（当町出身）・みどりさんがゲストとして出演し、息の合った華麗な社交ダンスを披露しました。

華麗な演技を披露した「きらりバレエ」

ふれあい教育フェスティバル 親子で一輪車、集団行動を鑑賞

芸術文化活動を鑑賞し家族のふれあいを深めてもらおうと、10月5日、町立体育館で「第4回野辺地町ふれあい教育フェスティバル」を行いました。

弘前市豊田児童センター一輪車クラブ39人は、ダイナミックで華麗な演技を11曲披露。

続いて、今年で13年目を迎えた野辺地高校スポーツ科学コース2・3年生59人が、号令とともに整列や隊列づくりなど、先輩から引き継いできた技術を披露し、約250人の観客を魅了しました。

多くの観客を魅了した一輪車クラブ

女性が町を元気にする勉強会 女性力がグッとアップ

まちおこしに興味を持ち、子育ての悩みなど直面する課題に目を向け、町を元気にしようとする女性の人材育成をめざし、3月15日、中央公民館で「女性が町を元気にする勉強会」を行いました。

今回が初めての開催で、子育て世代の女性ら49人が参加。男女共同参画講座の受講生が、事業の企画・運営にあたりました。

講演会やグループワークでは、八戸市の食育料理家のなぎさなおこさんが目標を立てることの大切さを話し、参加者は「これからの生活に役立てたい」と感想を述べていました。

講師の講演に聞き入る参加者たち

イングリッシュDAY 英会話の楽しさを体験

本場の英語に触れて英語力を高め、英会話の楽しさを感じてほしいと、7月23日、柴崎牧場拓心館で「イングリッシュDAY」を行いました。

今回が初めての開催で、町内の小・中・高校生52人が参加。

町内の小・中学校に勤務するタイラー・タナートニコラスさん、野辺地高校のケイティ・ミリカンさんら県内外の外国語指導助手（ALT）6人が講師を務め、英語で進行されました。

参加者はグループに分かれ、自己紹介、友達紹介や紙芝居を披露したり、バーベキューを楽しむなど、生きた英語や異文化に触れました。

英会話の楽しさを体験した参加者たち

生徒指導小学校出前授業 中1ギャップを解消 スムーズに進学

小学校6年生児童に野辺地中学校の先生と生徒が学校の様子や生活を伝える「生徒指導小学校出前授業」が、2月13日・14日・19日の3日間、町内の各小学校で行われました。

中1ギャップを減らし、スムーズに進学できるようにすることがねらいで、毎年実施しています。

馬門小学校では、卒業生2人が、中学校と小学校生活の違いを体験発表。発表した中学生は「今日の出前授業で中学校の入学を不安から楽しみに変えてほしい」と児童10人にエールを送りました。

中学校の様子を熱心に聞き入る馬門小6年生児童

野辺地高等学校 スポーツ科学コース生徒 集団行動披露

11月1日、野辺地高校第一体育館において、第13回体育実技発表会が行われました。

野辺地高等学校（瀧口孝之校長）では、2年生からスポーツ科学コース、総合コース、進学コースの三コースに分かれて進路希望に応じた勉強をしますが、体育実技発表会は、スポーツ科学コースの生徒が日ごろ鍛えた技を披露する場です。

今年は、「進化・深化・新化」をテーマに巨大スクリーンも使用し、集団行動等の演技を発表しました。あまりの見事さに会場全体が静まり返る場面もありましたが、大きな拍手をいただき、充実した発表会となりました。

一糸乱れぬ行進を披露するスポーツ科学コース生徒

八戸学院野辺地西高等学校 熱気球クラブ 被災地の空を彩る

八戸学院野辺地西高等学校（齋藤弘実校長）では、高校としては珍しい熱気球クラブがあり、声がかかると体験フライトを行っています。

昨年9月に、県教育委員会企画の「高校生による震災復興支援事業」に参加し、岩手県陸前高田市と山田町で搭乗体験を実施。ものづくりクラブが作製したバッテリーカーとクレーンゲームも持参し、「出前ゲームセンター」を開催しました。訪れた方々は上空から見る景色に歓声を上げ、手作りゲームセンターに一喜一憂し、暫し楽しい時間を過ごしたようです。

町内でも、11月に若葉小学校で搭乗体験を行いました。

震災復興支援で搭乗体験を行った野西高熱気球クラブ

「野辺地ふるさと文学散歩」発刊 野辺地の文学作品・作家を紹介

野辺地町を舞台とした文学作品や町出身の作家・文筆家を紹介する「野辺地ふるさと文学散歩」を3月に発刊しました。

短歌・俳句・川柳の関係者や郷土史研究家ら7人で編集委員会を組織。編集委員や町内外の専門家が執筆しました。

文学散歩はA4版の74ページ。愛宕公園の文学碑や町と石川啄木のゆかりなどを紹介しています。

浅利能之教育長は「文学をキーワードに町の魅力を発信し、PRしたい」と願っています。

文学作品等を紹介する「野辺地ふるさと文学散歩」

花鳥号銅像の修復 愛宕公園のシンボル 38年ぶりに修復

昭和4年に建てられ、愛宕公園のシンボルとなっている町指定の有形文化財である花鳥号銅像の修復が10月28日に完了しました。

花鳥号は明治9年の明治天皇東北巡行にお供し、野辺地で倒れた名馬。昭和50年には、銅像の脚部や台座の修復が行われましたが、その後の経年劣化により、4本の脚部などに亀裂が入るなど倒壊の恐れがありました。

今回の修復では、内部の洗浄の後、四脚・尻尾・顔面の亀裂やヒビの部分を溶接し、色付けを行いました。また、台座と銅像をアンカーボルトやステンレス棒で固定しました。

修復を終えた花鳥号銅像

子ども見守り隊 文部科学大臣表彰受賞

野辺地町「子ども見守り隊」（藤川和夫代表）が、文部科学大臣から学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞しました

文部科学大臣表彰を受賞した藤川代表（中）

船橋玲さん 全国PTA表彰受賞

野辺地中学校のPTA会長や県PTA連合会で役員を務めた船橋玲さんが、日本PTA全国協議会会長から会長特別表彰を受賞しました。

全国PTA表彰を受賞した船橋玲さん（右）

4月から学校や各種団体の行事予定をホームページでお知らせします。http://www.town.noheji.aomori.jp

子ども会　入会募集

子ども会名	育成会代表者	
下町一区子ども会	村木亜弓	64-2670
D51（駅前）子ども会	木村正代	64-0575
城内子ども会	久保田えり子	64-5440
浜町子ども会	五十嵐洋介	64-3838
新道子ども会	高野早苗	64-4745
金沢町子ども会	甲斐稔信	64-7384
下袋町子ども会	小塚直毅	64-3027
馬門子ども会	荒川康夫	64-4004

■主な活動　①のへじ祇園まつり参加　②ラジオ体操
③各種お楽しみ会　④夏季キャンプ

■その他　1）子ども会への入会は強制ではありません。
2）後日、学校を通して申込書が配布されます。
3）住んでいる地区に子ども会がなく、入会を希望される方は、町教育委員会（TEL64－2111）へご相談ください。

スポーツ少年団　団員募集

（スポーツは友達！みんなで少年団の仲間になろう）

少年団名	連絡先	
ハンドボールスポーツ少年団	久保田路大	64-2111（役場）
サッカースポーツ少年団	髙野敦史	64-9389
柔道スポーツ少年団	横浜信弥	64-2225（野辺地中学校）
ジュニアバドミントンスポーツ少年団	滝澤完至	64-2706
ミニバスケットボールスポーツ少年団	甲地潮吏	64-2272（野辺地小学校）
剣道スポーツ少年団	木明裕二	64-7555
野球スポーツ少年団	野呂信幸	64-2111（役場）
マラソンスポーツ少年団	若山弘一	64-2774
卓球スポーツ少年団	松尾節男	64-1770（健康増進センター）
体操スポーツ少年団	酒田綾子	64-4692
サッカークラブU－12スポーツ少年団	川畑正人	64-0846

文化少年団　団員募集

■対　　象　小学生・中学生（版画・陶芸は小学校２年生から）
■活動期間　６月～12月
■活動場所　中央公民館（陶芸少年団は、愛宕コミセン）
■申し込み　５月30日（金）までに中央公民館（64－3054）
結団式は、６月７日（土）午前９時30分から、行います。

少年団名	活動日・時間	活動費
子ども将棋少年団	第２・４土曜日 9:00 ～	1,000円
料理少年団	第４土曜日 9:30 ～	2,000円
茶道少年団	第２土曜日 9:00 ～	2,000円
版画少年団	第２・４土曜日 13:00 ～	2,000円
陶芸少年団	第１・３土曜日 13:00 ～	2,000円
郷土カルタと百人一首を楽しむ会	第２・４土曜日 13:00 ～	1,000円

※活動日・時間は変更になる場合もあります。

ボーイスカウト　入隊員募集

○ボーイスカウトはインターナショナル
世界のさまざまな国の人々と友だちになれるというのが、スカウト活動の魅力です。とにかく地球規模のワイドな活動です。世界の隅々でスカウトたちは活躍しています。

○年齢別のグループで活動しています

部　　門	年　　齢
ビーバースカウト	小学校１年生の就学直前９月から
カブスカウト	小学校２年生の９月から
ボーイスカウト	小学校５年生の９月から
ベンチャースカウト	中学校３年生の９月から
ローバースカウト	18歳以上

○野外活動を中心に、いろいろなことを学びます
野外活動を通して、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。

○保護者の皆様へ
①指導者もしっかり育成しています。
②必要最低限の費用で参加できます。

＜申し込み・問合せ先＞　高野薬局（64－3359）

学校給食費納入のお願い

学校給食費は、保護者の皆様の給食費で賄っておりますが、近年、学校給食費の未納者が増加しており、未納金額が大変大きく、学校給食の円滑な実施に支障をきたしております。

今後、理由なく滞納されている保護者に対して、裁判所への「支払督促申立」や「差し押さえ」等の法的措置を視野に入れていく予定でありますので、期限までに必ず納入するようお願いします。

給食センター（TEL64－2886）

中央公民館からのお願い

①入館の際に、玄関前で靴の汚れを落としてください。
公民館は、各種行事や会議・研修会など、町内外の多くの方に利用していただいており、床滑り防止及び利便性の観点から、館内の一部にジュウタンを敷いております。
そこで、皆さんにきれいな状態で利用していただきたいため、玄関前で靴の汚れを落としてくださるよう、ご協力をお願いいたします。

②喫煙場所を変更しました。
これまで玄関入口付近に設置していた喫煙場所を公民館と図書館の連絡通路下に変更しました。